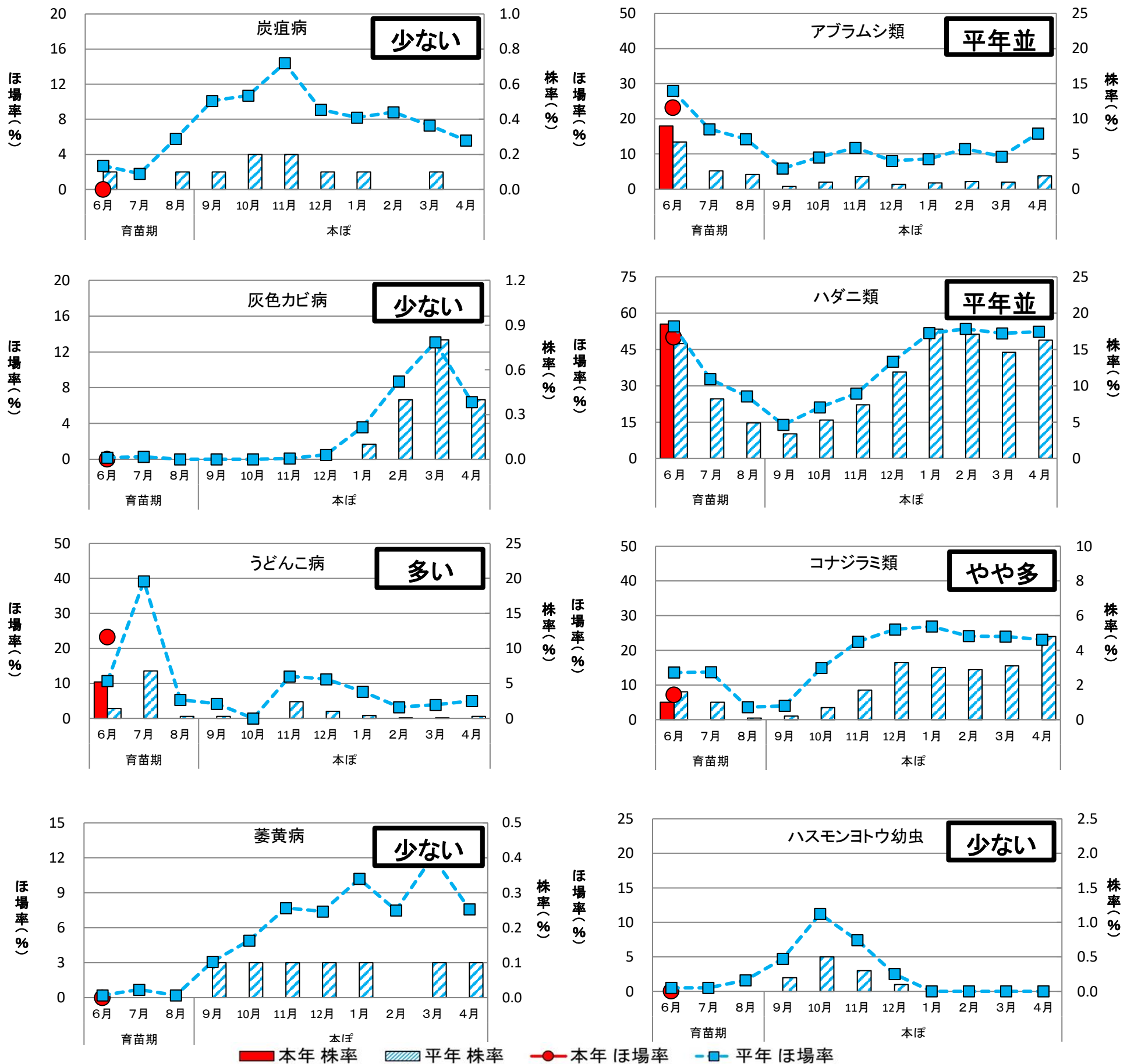


# いちご病害虫情報第1号（6月）

令和8（2026）年6月19日  
栃木県農業総合研究センター  
環境技術指導部

## ■ 病害虫の発生状況 【総調査ほ場数：57か所】



※ほ場あたり25株調査 ※株率(%)：発生株数／調査ほ場数×25株 ※ほ場率(%)：発生が確認されたほ場数／調査ほ場数

## ■ 今月の防除ポイント

### — 炭疽病 —

高温・多湿条件で発生が拡大しやすい病害のため、高温が予想されている本年は多発のおそれがあります。発生後の防除が困難なため、予防を主体とした防除対策を徹底しましょう。

- 1 症状が出てからの防除は困難なので、発生前から薬剤※を定期的に予防散布する。  
※ベルコートフロアブル(RACコードF:M7)等。
- 2 分生子の飛散・伝染を防ぐため、できるだけ水の跳ね返りのない方法※でかん水を行う。  
※頭上かん水は控え、点滴チューブ等。
- 3 発病株は見つけしだい抜き取り、肥料袋等に詰め、空気を排出口をしっかりと閉じて、日当たりのよい野外に放置し、嫌氣的発酵処理後に処分する。

イチゴ炭疽病について、詳細は以下をご覧ください。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/documents/point21.pdf>

## ■ トピックス

### － うどんこ病 －

うどん粉をまぶしたような白色のカビによる病害(写真1～4)です。長雨等の過湿や日照不足で軟弱徒長した株、過繁茂した株で多く発生します。

#### 予防を主体とした防除対策を徹底しましょう！

- 1 育苗時からの防除を徹底し、本ぽに菌を持ち込まないようにする。
- 2 薬剤防除を行う際には、薬剤に展着剤を加え、葉裏にも薬液が良くかかるようにていねいに散布する。
- 3 薬剤感受性の低下を防ぐため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- 4 高温期は発生が抑えられているように見えるが、病原菌は潜在しているため注意が必要である。

#### 《葉などの病徴》



詳細は、農業総合研究センター 防除課 (TEL 028-665-1244) までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは「[栃木県農政部X\(@tochigi\\_nousei\)](https://twitter.com/tochigi_nousei)」、  
[農業総合研究センターホームページ \(https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html\)](https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html)  
でもご覧いただけます。

